

— 令和3年度 議会報告会 各地区テーマに対する回答について —

【 北 東 】地区

1. 令和3年度「議会報告会」地区テーマ

(1)テーマ: 市道(穴山)5号線の延伸の検証について

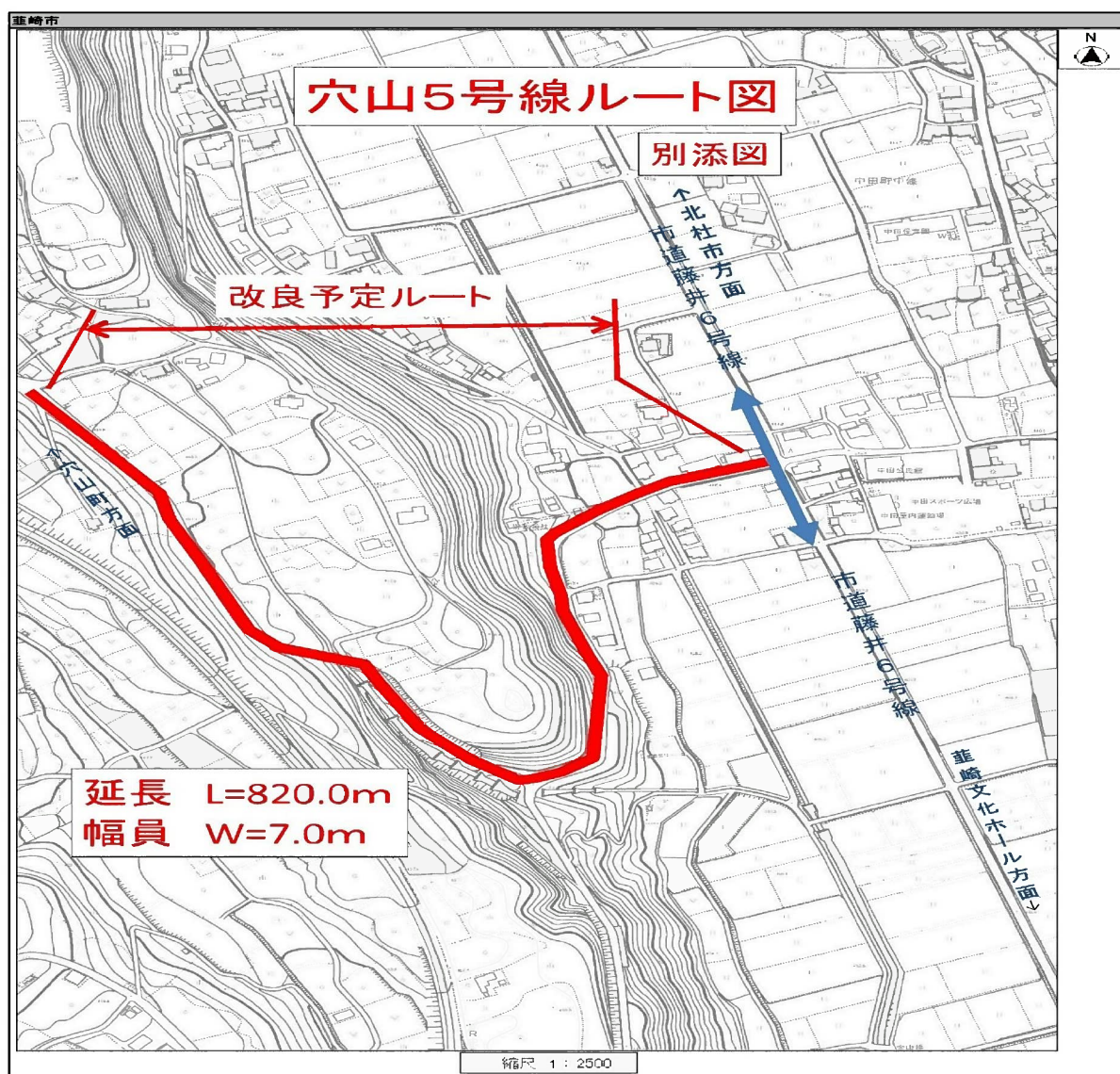
①これまでの経緯

- ・H30年 藤井・中田・穴山町の代表地区長、地区選出議員、市建設課による穴山5号線検討会議にて現道拡幅ルートに決定
- ・R元年 事業化に向け関係機関と協議、補助事業として目途
- ・R2年10月 中田地区道路建設委員会設立
- ・R3年5月 中田地区道路建設委員会開催
- ・R3年6月11～13日 地権者説明会開催(31名参加)

②今後の予定

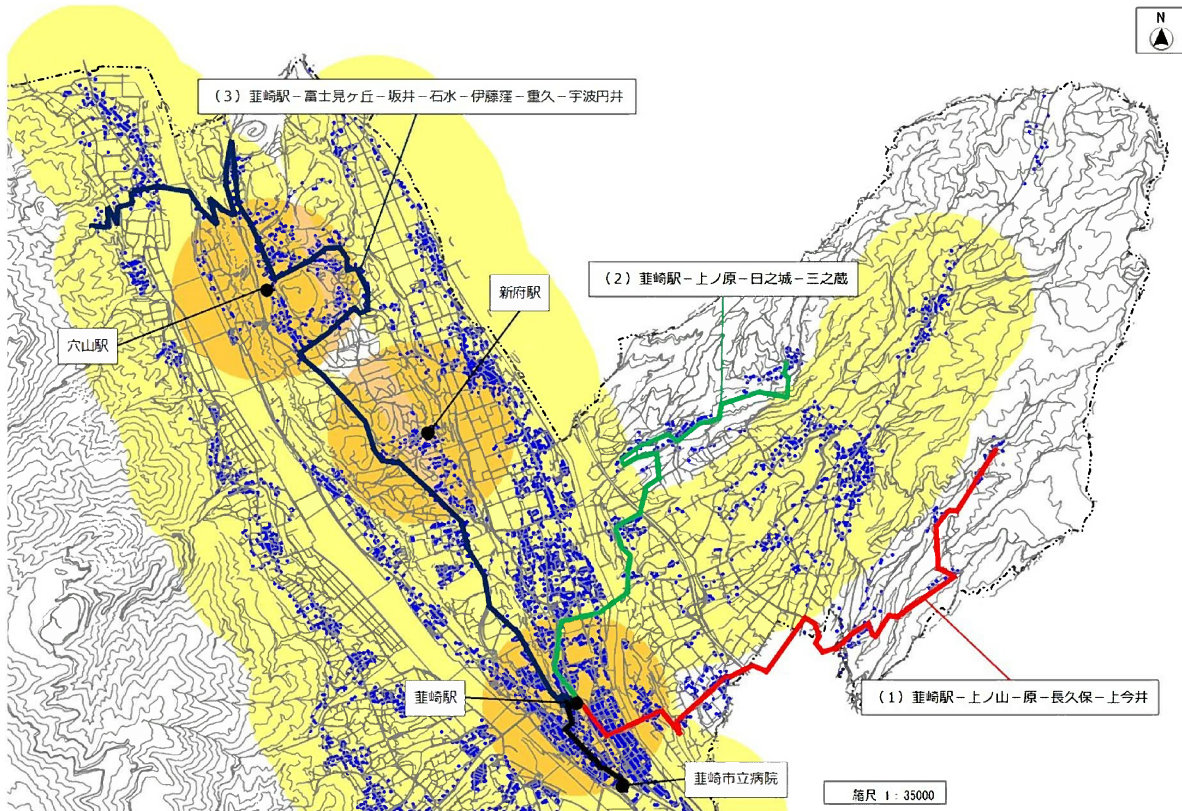
- ・R3年8月下旬 概略設計発注予定
- ・R3年度中は 個別意向調査 ～ 地権者説明会実施予定
- ・R4年～5年度 用地買収・補償
- ・R5年～10年度 工事着手～完了予定

③市道(穴山)5号線ルート図



(2)テーマ: 七里岩台上の交通弱者対策について

【令和2年度実施事業】
市民乗合タクシー実証実験について
市内の公共交通空白(不便)地域の高齢者等の移動手段を確保するため、下記のとおり市民乗合タクシーによる実証実験を実施しました。
①市民乗合タクシー運行地域について



②運行概要

運行路線	(1) 上ノ山經由上今井線	(2) 上ノ原經由三之蔵線	(3) 穴山經由宇波円井線
運行期間	令和2年10月1日～令和3年3月31日(1月1日は除く。)		
運行便数※便:片道	724便(4便/日)		
走行距離	片道11.24km	片道8.59km	片道16.4km
運賃設定	エリア定額制 (200円～400円) (高齢者・障がい者・小児・中学生割引運賃 100円) 荊崎・藤井エリア、穂坂エリア、穴山エリア、宇波円井エリア		
利用方法	運行事業者を利用する便を予約する。		

③実績報告

路 線	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
上ノ山經由上今井線	0	0	0	2	3	0	5
上ノ原經由三之蔵線	0	0	0	0	0	0	0
穴山經由宇波円井線	8	7	14	11	41	36	117

運行期間	令和2年10月1日～令和3年3月31日（1月1日は除く。）		
運行路線	(1) 上ノ山經由上今井線	(2) 上ノ原經由三之蔵線	(3) 穴山經由宇波円井線
利用人数・利用回数	5人・10回	利用実績なし	117人・234回

④実施結果

上ノ山經由上今井線及び上ノ原經由三之蔵線については、高齢者タクシー利用助成事業による利用の方が使いやすいとの声もあり、利用実績がなかった。

穴山經由宇波円井線については、2月～3月にかけて増加傾向にあるが、特定の高齢者による利用がメインとなっており、これ以上の大幅な利用者の増加が見込めず、タクシーのほうが使いやすいとの声もあった。

【令和3年度実施事業】

高齢者タクシー利用助成事業(対象地域拡大地区)

市民乗合タクシー実証実験の利用実績を考慮して、乗車実績のあった地区の70歳以上の方を対象に、1回700円(月4枚相当のチケット配布)でタクシー利用を可能とする、高齢者タクシー利用助成の対象地域を拡大する形で1年間の試験運行を開始。

【4月・5月分の実績】

- ・登録件数 17件
- ・利用回数 46回

助成額	地区	登録件数	利用回数
4月 28,980円	富士見ヶ丘	1	0
	上ノ山	3	5
5月 80,980円	坂井	0	0
	石水	2	0
	伊藤窪	6	23
	次第窪	1	0
	重久	1	0
	宇波円井	3	18

【今後の課題】

JR新府駅周辺の住民もホームまでの階段の上り下りが困難な高齢者がいるため、市民乗り合いタクシーの対象地区のさらなる拡大の検討が必要と思われる。

(3)テーマ: 主要地方道茅野・北杜・韮崎線(新府バイパス)の進捗状況について

中田町中條地内の国史跡・新府城跡内を走る主要地方道茅野・北杜・韮崎線を道路長さ800m(幅員6m)東側に移設する山梨県の事業計画

- ①R2年度
 - ・用地買収完了
 - ・工事着手(本線:L=180m)
- ②R3年度
 - ・工事継続(本線:L=50m)
 新府城参道付近の立体交差部及びその取付工事

(4)テーマ： 穴山屋内運動場整備事業について

①これまでの経緯

- ・平成30年1月24日 穴山屋内運動場について、建設に向けて事業を進める運びとなり地区説明会が開催されました。実施年度は、財政計画により平成30年度順次着手し、改修順序は利用状況及び耐用年数を考慮し、平成30年度中田屋内運動場、令和2年度円野屋内運動場、穴山屋内運動場は令和4年度着工予定になりました。
- ・平成30年2月7日 地区説明会を受け、屋内運動場建設にあたりさまざまな意見を集約し、教育委員会へ要望書を提出しました。
- ・令和2年3月 中田屋内運動場建設工事竣工 7月供用開始
- ・令和3年3月11日 歴代区長会、現区長会、歴代公民館館長、現公民館、等有志19名、教育課より3名による中田屋内運動場を視察研修を実施する。
- ・令和3年3月31日 穴山町体育館建設委員会発足
- ・令和3年3月31日 円野屋内運動場建設工事竣工
- ・令和3年5月25日 建設委員会による円野屋内運動場を視察研修を実施。建設工事工程表、体育館の立面図、平面図、全体配置図(別紙資料)の説明がされる。
- ・令和3年6月21日 さまざまな意見を集約し、要望事項(別紙資料)を教育課に提出する。
- ・令和3年7月15日 穴山町屋内運動場建設に伴う地域説明会が開催され、市の検討状況が報告された。

穴山町区長会会長（重久区長）
穴山町区長会副会長（次第窪区長）
穴山町まちづくり推進協議会会長（夏目区長）
穴山町まちづくり推進協議会副会長（久保区長）
穴山町ふれあいホール運営協議会会長（伊藤窪区長）
韮崎市福祉協議会穴山支部長（石水区長）
穴山公民館館長
穴山公民館主事
穴山町体育協会会長
前穴山町体育協会会長
穴山町青少年育成会会長
穴山町ボランティアの会代表
前穴山町区長会会長
前穴山町まちづくり推進協議会会長
有識者
有識者
有識者
市議会議員

穴山町屋内運動場建設に際しての要望事項

穴山町屋内運動場建設委員会

はじめに：

穴山町は、保育園や高齢者養護施設「なごみ」の閉鎖など、市内においても公的施設の少ない地域である。また、本施設の建設についても、最も遅い順序を受け入れてきた。然るに、屋内運動場の新設にあたっては、市の公共政策に協力してきた穴山町の姿勢を酌量していただき、町からの要望事項を真摯に受け止めていただければ幸いである。

要望事項：

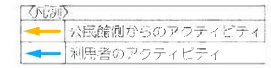
	項 目	市への要望	備 考	市の検討状況（7月現在）
①	吸音対策	体育館内の不快な反響音を軽減させるための吸音材を壁面等に貼ってほしい。	反響が大きく、話し声が聞きづらいなどの問題がある。	防音と防球を両立することは困難なため、優先順位が必要です。
②	有孔ボードの取り付け用バーの設置	屋内壁面（北面、南面）に有孔ボードをとりつける木製バー（角材）を設置してほしい。	展示用（文化祭等）（高さ指定）	設置を予定しています。
③	スクリーン、懸垂バーの取り付け	舞台後方（西側壁面）の天井に横断幕、懸垂幕用の可動式懸垂バーを設置してほしい。	文化祭、講演会等で使用	設置を予定しています。
④	強化ガラス	南側の窓を強化ガラスに。	ソフトボール対策	維持管理を考慮し、防球ネットによる対策を予定しています。（一部合わせガラス採用予定）
⑤	北側も掃き出し窓に	北側の3カ所の窓も、掃き出し窓にしてほしい。（北側の物置から物品を搬入するため）		掃き出し窓を採用する予定です。
⑥	収納倉庫（備品）を建屋北側に追加	北側外に収納用の物置を設置。北面の掃き出し窓（要望事項⑤）とつながるようにしてほしい。	有孔ボード、机などを収納	屋根等で直接つなぐことはできませんが、近くに配置を予定しています。
⑦	防災用品用倉庫（西側建屋外）	市から供給される防災用備品も含め、災害時に搬出しやすい屋外に防災備品用倉庫を設置してほしい。		総務課において、来年度以降予算化できるよう庁内で協議していく予定です。
⑧	屋外競技用倉庫	新屋内運動場建設に伴い取り壊しとなる、屋外競技用の倉庫を設置してほしい。（移設する倉庫の傍に）	設置場所は東側に変更	建物東側に設置予定です。

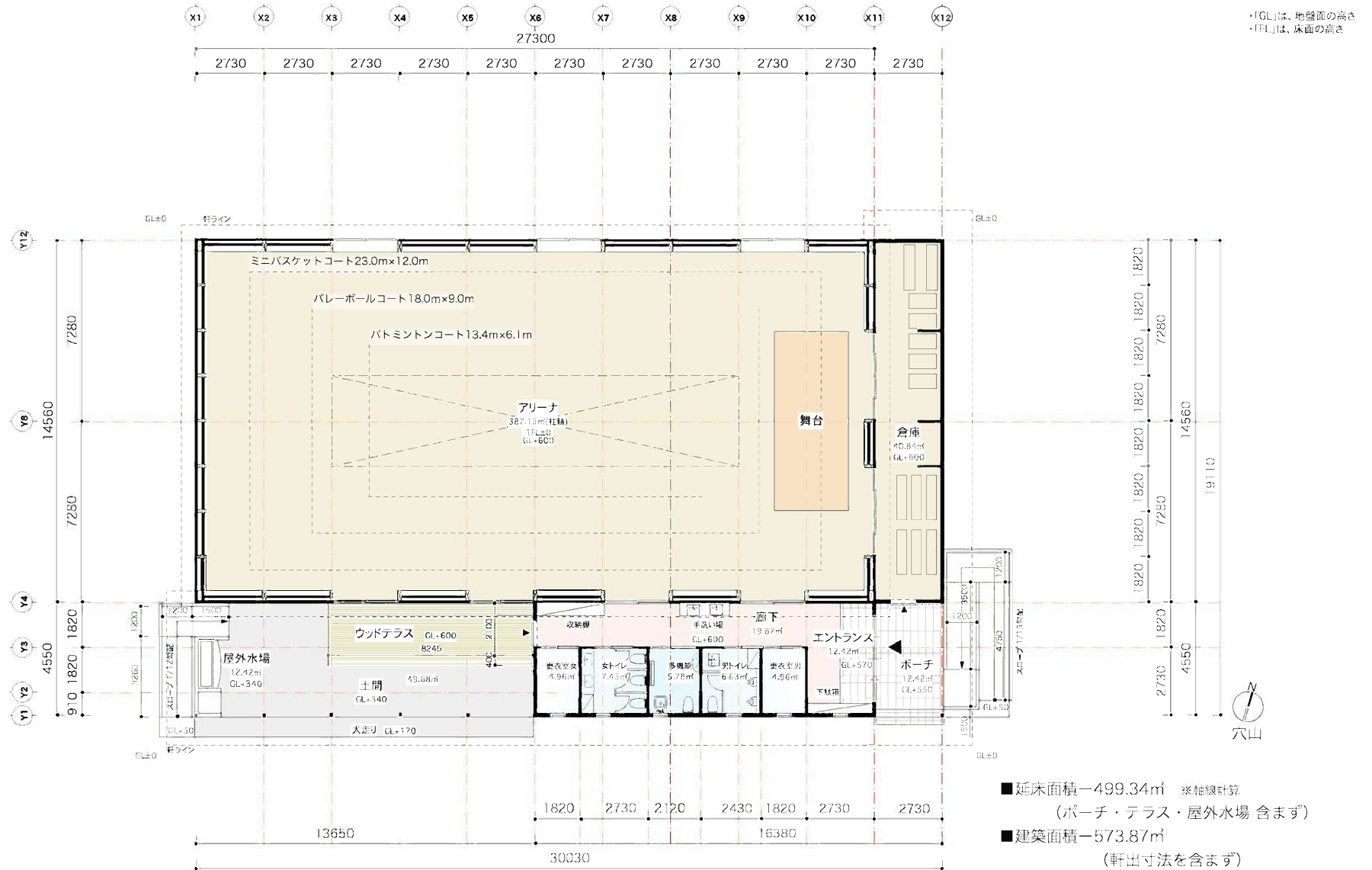
⑨	外壁の色	サンプルを参照させていただき、本建設委員会で決定させてほしい。		最大限配慮します。
⑩	屋外トイレ	屋外行事の際などに使える屋外トイレを東側に設置してほしい。	さくら公園のトイレを参照。	既存屋外トイレは解体し、公民館側との通路となるよう協議したところ です。
⑪	非常時用屋外トイレ	災害時等の断水時にも使える非常用トイレの設置	中田体育館に設置されているものと同じもの	建物東側に設置予定です。
⑫	屋外デッキテラス	南面外に設置予定のデッキテラスを可動式にして、半分でなく全面にしてほしい。	火を使う行事などで移動して使い分けられるように。	既存商品等なく、安全性も考慮するとデッキを可動式にすることはできません。
⑬	西側スロープ	図面上、土間のレベルまでしかないスロープをデッキレベルまで伸張させ、南面掃き出しからもアクセスできるようにしてほしい。		利便性減少の懸念と使用頻度を考慮し、必要時に段差解消スロープ等を利用してください。
⑭	南面外にある各種「記念碑」の移設	旧体育館の南面外側にある記念碑（石碑）を取り壊さずに、指定の場所に移設してほしい。	穴山小学校100周年、閉校記念の碑など	旧施設解体時に移設予定です。指定の場所を指示してください。
⑮	体育館外周をコンクリートで固める	建物の外周をコンクリートで囲い、整備がしやすいようにしてほしい。	円野の体育館と同じような形式で。	舗装を予定しています。
⑯	廊下の洗面台	災害時にバケツ等が使えるように、大型で横長のステンレス製に。	トイレの洗面台も大きく	ご要望の内容を予定しています。
⑰	椅子、机	軽量の椅子（250脚・台車を含む）机の支給を。		新規購入備品については、予算額500万円を基礎として町内で優先順位を決定してください。

葦崎市宮穴山屋内運動場建設工事 設計 工程表

2021.03.25

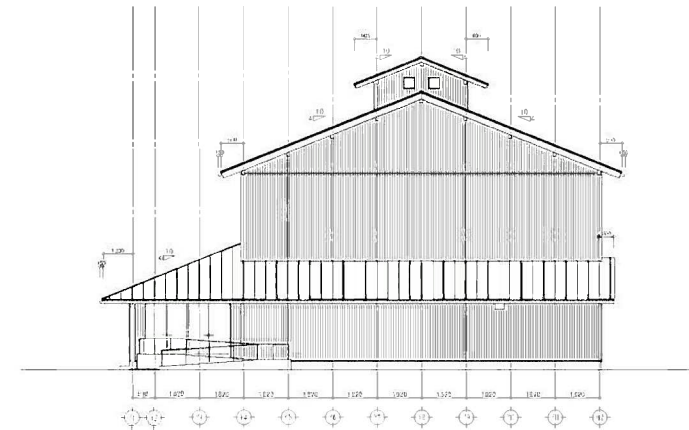
工事期間		5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	令和4年／1月	2月	3月	備考	
設計日程	事前調査	実施設計									設計図書の提出			
		(基本設計)			(基本設計提出)	(実施設計)								
	(地域)基本的な要望確認 (設計)役所確認・申請機関打合せ・基本図面(平立断面)作成			基本設計図面作成	概算見積 (積算)	詳細図面の作成 ・ 変更／最終図面確認			積算	調整の上提出				
	解体		解体			片づけ	(未定)							
埋文						試掘				本掘調査		(未定)		
設計日程														
現場確認	現場確認					地盤調査 (解体終了後・埋文試掘前)								
調査・協議	役所調査	申請機関 との協議												
地域協議	平面図の提示		設備機器 及び 仕様の提示	図面全般・及び 仕様等の最終資料提示 ⇒図面承認										
(基本設計)		平面図の決定	設備機器等の決定 ⇒図面確定 (設備・仕様含む)		概算予算の確認 まとめ									
実施設計				詳細部分打合せ(市担当) 詳細図面の作成		詳細図面の作成 ・ 変更／最終図面確認			積算	調整・提出				
構造設計		円野平面の確認	構造検討	構造基本設計の確定 構造概要書の作成	構造計算		構造計算 (埋文による修正にはどう対応できる か？)							
設備設計			設備機器確認 (円野同等品)	現場確認・打合せ	設備計算詳細	実施設計・積算		調整・設計書提出						
確認申請		事前協議								申請相談	申請提出	申請UP		



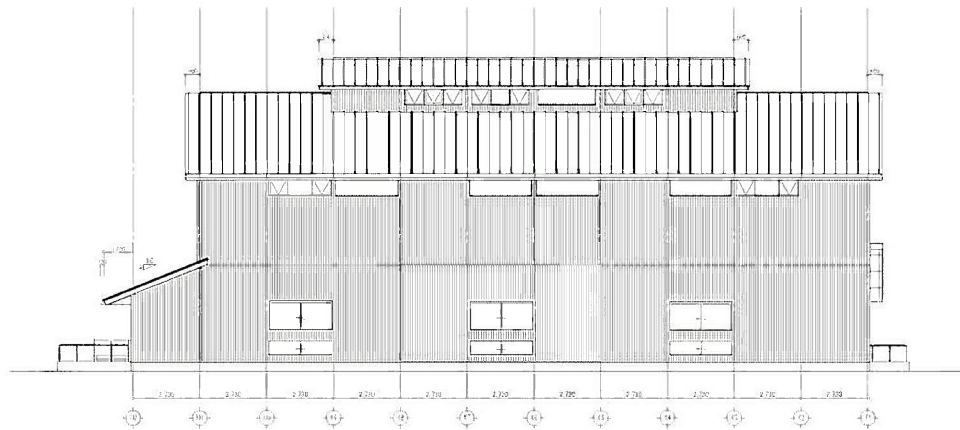




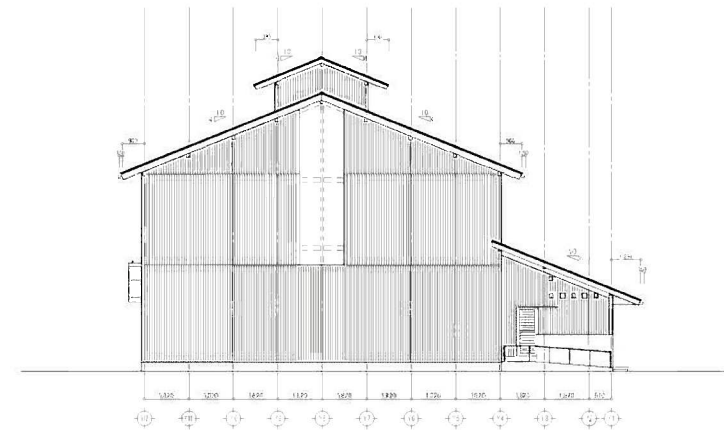
南側 立面図 S:1/200



東側 立面図 S:1/200



北側 立面図 S:1/200



西側 立面図 S:1/200

(5)テーマ：住環境整備について

《住環境整備について》

藤井地区につきましては、近年世帯数が増加傾向にあり、民間事業者による宅地開発が行なわれておりますが、世帯数が増加するものの周辺道路の拡幅等がされず、交通に支障が出ております。地域住民による開発構想の構築が大前提と思いますが、民間事業者との連携開発による周辺道水路整備等の考えについて質問をいたしました。

①民間事業者との連携開発によるインフラ整備について

第7次総合計画をはじめ、都市計画マスタープラン等に基づき、市民と協働したまちづくりを行うことが重要だと考えておりますので、民間事業者との連携も含め、有効な土地利用につながる周辺のインフラ整備などについても研究してまいります。

②藤井地区のまちづくりについて

藤井地区につきましては、現行の都市計画でも一部のエリアにおいて、優良な住宅地としての土地利用が望ましいとして用地区域が指定されており、また過去には、住環境の向上のため、土地区画整理事業が計画された地域でもあります。残念ながらこの計画は実現しませんでした。現在でも、学校や病院をはじめ、商業施設などの集客施設がバランスよく配置され、市内においても住環境には優れた地域であると思いますので、人口減少時代ではありますが、ある程度の人口密度が保たれ、最低でも現状維持ができるような、まちづくり施策が必要ではないかと考えます。

③市街地開発などについて

地域の適正な土地利用は、住環境の整備をはじめ、まちづくりには重要な取り組みです。その役割の一端を担うのが、民間事業者による開発行為でありますので、民間需要を刺激するようなインフラ条件を整えることも行政に求められています。このような中で、藤井地区を含め、市内でも比較的都市化が進んでいる地域においては、その骨格を成す都市計画道路などの幹線道路の整備計画が概ね完了していますので、その道路網を活かし、より市街地開発が進むような肋骨道路などのインフラ整備を計画的に行うことが必要であると考えます。

【今後の課題について】

藤井地区のまちづくりについては、近年、民間事業者による開発が進み世帯が増加しております。地域住民や民間事業者との連携も含めた住環境の整備の検討をお願いしました。

